

広報

やまと

1月号

2019 No. 261



もくじ

- 02-03 特集1：新年のご挨拶
- 04-05 特集2：成人式
- 06-09 シマの話題
- 10-11 連載：ワンダー奄美（地域おこし協力隊通信）ほか
- 12-14 お知らせ
- 15 大和村長のフォトダイアリー、ほか
- 16 島の宝、ほか

謹賀新年

村民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい平成31年の新春をご家族おそろいでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

今年は亥年でございます。猪年生まれのは、「猪突猛進」、意思強固で熱心でひたむきな性格であり、心がやさしく正直者であると言われております。

本年が、ご家族にとって、猪のように前に突き進んでいけるよう実りある一年となります事を、心から願っております。

さて、昨年は、奄美群島におきまして、大型台風の襲来により、住居及び公共施設や農業を中心に大きな被害がありました。大自然の驚異を改めて思い知ったところがありました。

そのような中、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録が延期されましたが大変残念に思つております。したが、「生物多様性」など奄美的自然に対する一定の評価は得ており、今年2月の推薦決定がなされたところでもあります。

国はもとより、鹿児島・沖縄両県及び、関係市町村並びに、地域住民のご理解ご協力を得ながら、引き続き保全活用に必要な対策検討を進めて参りたいと思います。

討を進めて参りたいと思います。

また昨年は、NHK大河ドラマ「西郷どん」のロケ地にもなった事で多くの交流人口の増加につながつていると感じているところであります。改めて奄美群島の振興発展に尽力して参りたいと決意を新たにしているところであります。併せて、平成30年度で期限が切れる奄振法につきましても、関係省庁のご理解ご協力のもと、法延長を前提とした予算編成において、31年度も地元の要望を組み入れた額が確保されたものとなり、奄美群島がステップアップする年になると期待をしているところであります。

それでは、年頭に当たり、村政の主な基本方針について申しあげます。

まず1点目は、「行財政改革の推進」であります。事業の効果や必要性など十分な検討を行い、常に「最小の経費で最大の効果」を目指し、適正な予算執行による健全財政の確立で村民福祉の向上に努めて参ります。

2点目は、「農林水産業と観光振興による雇用創出や交流人口の拡大」であります。合同会社「ひらとみ」の機能充実による、第

1次産業の振興、雇用の創出、特産品の販路拡大等を図る他、本村の課題解決に取り組みます。

3点目は「企業誘致と空き家改修や定住促進住宅の整備促進」であります。企業誘致の実現に努めるほか、村独自の空き家改修や住宅整備による定住促進の更なる充実・強化に努めます。

4点目は「子育て支援の拡大」であります。本村独自の支援策を継続するほか、昨年度から始めた0歳児保育・就学援助費助成・専門学校通学補助・公営住宅家賃助成・インターネット塾などの拡充に努めます。

その他、「道路交通網、情報通信網、生活環境の整備促進」、「安全安心な大和村づくり」の、合計6つの基本方針を推進し、村民と共に明るく豊かな「まほろば大和」の創造に取り組むことで、「村民が主役・小さくとも光輝く村づくり」の実現に邁進して参りたいと思います。

そして今年は元号が変わる年であります。新たなスタートとの思いをもつて、村制施行111周年を迎えるにあたり、先人が築き上げた功績を守りながら、「豊かな自然や伝統文化」を継承し、後世に残していくための施策を推進していくながら、大和村の基本理念である「自然と共生し、生き生き、安全・安心な住みよい村づくり」の実現に向けて努力して参ります。



平成三十一年 元旦
大和村長 伊集院 幼



瀬崎 大輝さん

今年から自動車関係の仕事に就くので技術を身につけ、将来は大和村に工場を建てたいので頑張ります。



福田 そよかさん

管理栄養士を目指しています。大和村はゆっくりとした島時間で落ち着く場所だと改めて思いました。



幡 紗彩さん

看護師として地域貢献に努めています。新成人として気持ちを新たに頑張ります。



大石 真子さん

小さい頃から大和村で育って、地域の人や家族など様々な人に支えられて成人を迎えたことに感謝しています。



大園 拓海さん

3歳～小1まで大和村に住んでいましたが、家族全員が大和村が大好きで、第2の故郷のような存在です。



重信 綾美さん

社会人としての自覚を持ちながらしっかり歩んでいきたいです。立派な美容師、ネイリストになりたい。



小田 康太さん

大人になったことを実感しました。良い家庭を築いていきたいです。



仁規 愛海さん

国試に合格し、村に貢献したい！！将来は絶対に大和村で暮らしたいです。



長田 虎太朗さん

大和村で水泳に出会うことができ、4年間温かく受け入れて頂きありがとうございました。将来は保健体育の教員になりたい。



ご成人おめでとうございます



大和校区



才原 文哉さん

立派な調理師になって島に帰ります。国直が盛り上がっているので嬉しいです。くんによりサイコー。



塩屋 夏海さん

親、地域の方への感謝の気持ちを忘れず、支えてくれた方々に恩返しができるよう頑張ります。



池田 彩音さん

英語を使う職につき、奄美に帰つてきたいです。ふるさと大和村を誇りに思います。



林 聖蓮さん

大和村が大好きです。必ず帰ってきます。



田畠 楓さん

成人式を迎えてすごく嬉しい。社会人としての自覚を持ちながら頑張りたいです。



出見 友里香さん

笑顔を絶やさない素敵な女性になりたい。大和村に恩返しができるよう頑張りたいです。

二十歳の記念日・成人式が1月4日、大和村防災センターで開催されました。平成10年度生まれの31人が成人を迎え、19名が式に出席。晴れ着に身を包み、久しぶりに再会した仲間たちと成人の門出を喜び合う姿が見られました。

藤井教育長が、「これから的人生において喜びも、悩みも、苦しみもあるでしょう。人の心がわかる優しさを持ち、自分には負けない『スットゴレ魂』で、志を果たして欲しい」と式辞を述べ、唱歌「故郷」を唱和しました。続いて、伊集院村長、大和村議会の勝山議長、大和村連合青年団の納團長が祝辞を述べ、人生の大海上を進み始めた新成人に激励の言葉を贈りました。

新成人代表の才原文哉さんは謝辞において、「家族・地域の人々のまなざしを思い出し、これまで東京で生活することができた。社会人としての責任を持ち前進する覚悟を持ち、将来島で活躍できるよう頑張ります。」と力強く語りました。

新成人の皆さんに将来の目標、ふるさと大和村への思いを尋ねました。頂いたコメントを抜粋して掲載しています。

新成人の皆さん、アンケートへのご協力ありがとうございました。

自分の言動に責任を持ち、誰かの手助けができるような人になりたいです。祖母の紬を着て成人式に出席できてうれしい。

今よりも勉学に励んで、自分を育てくれた大和村を盛り上げられるようになりたい。



前田 凌太郎さん

地域の安全を祈願して

出初式 開催



表彰者の方々



■鹿児島県消防協会表彰	功績章	元山 满雄
■大島支部長表彰	精績章	今井 隆
■消防庁長官退職消防団員報償	10年勤続章	吉原 修
15年勤続章	森岡 豊史	元山 满雄
功績章	吉原 修	今井 隆
大島支部長表彰	細川 伸	吉原 修
消防庁長官退職消防団員報償	浜井 康彰	吉原 修
10年勤続章	森岡 豊史	元山 满雄
功績章	吉原 修	今井 隆
大島支部長表彰	細川 伸	吉原 修
消防庁長官退職消防団員報償	浜井 康彰	吉原 修
15年勤続章	森岡 豊史	元山 满雄
功績章	吉原 修	今井 隆
大島支部長表彰	細川 伸	吉原 修
消防庁長官退職消防団員報償	浜井 康彰	吉原 修
10年勤続章	森岡 豊史	元山 满雄
功績章	吉原 修	今井 隆
大島支部長表彰	細川 伸	吉原 修
消防庁長官退職消防団員報償	浜井 康彰	吉原 修
15年勤続章	森岡 豊史	元山 满雄

1月6日（日）、大和中学校体育館において、一年の無火災・無災害と消防団員の士気高揚を祈念して平成31年大和村消防出初式が開催されました。あいにくの天気のため体育館での開催となり、恒例の一斉放水演習はありませんでしたが、通常点検が行われた観閲式や行進の際には、きびきびとした規律ある動きで日頃の訓練の成果を發揮しました。

近年、自然災害が多発する傾向にあり、地域に密着し機動力の高い消防団は地域の安全の要です。休日返上で訓練に励む消防団員の皆さん本当にありがとうございます。

正月準備は朝市で

ひらとみ朝市 開催



会場では、まほろばやまと漁業集落が魚汁を、生活研究グループがつきたてのお餅が入ったせんざいを無料でふるまい、来場者は体を温めてほっこり一息ついていました。また餅つき体験をする地元の親子や海外からの滞在者の姿も見られ、それぞれに年末恒例の朝市を楽しんでいたようでした。



自分でついたお餅を食べる台湾からのお客さん。

年末恒例のひらとみ朝市（主催・同実行委員会）が12月28日（金）の早朝、大和港思勝地区緑地広場で行われました。

地場産の野菜や近海で水揚げされた新鮮な魚介類、正月飾りの門松やしめ縄などお正月に向けた商品が並び、大勢の人で賑わいました。毎年人気を博している農産物の販売ブースには、午前7時の販売開始前にすでにお客さんの列ができ、福元だいこんをはじめとした大和村産農産物を買い求めていました。

シマの伝統を未来に引きつぐために

環境文化を考えるシンポジウム開催



1月12日、大和村防災センターにて、鹿児島大学の鹿児島環境学救急会と環境省奄美野生生物保護センターの共催で、「シマの暮らし（環境文化）を考える」シンポジウムが開催されました。環境文化とは、自然景観とともに育まれてきた人々の暮らしや文化を指す言葉で、奄美群島国立公園の特徴です。このシマ独特の文化の価値を住民にひらく知つてもらい、未来へと継承するヒントを模索しようと、このテーマでシンポジウムが行われました。集落歩きプログラムや体験型観光に取り組む国直集落、龍郷町秋名・幾里集落、住用町市集落の代表者や、集落の先輩世代、若者世代の代表者、移住者らが登壇しディスカッションを行いました。およそ50名の来場者同士でも意見を交わし合い、集落や世代を越えた活発な議論がなされました。集落の伝統文化・伝統行事は、この世界で唯一無二のものです。これを次世代に引き継ぐことができるのも、ここに住む私たちだけなのだということを改め感じた機会となりました。

英語に親しむ体験教室

保育所 英会話教室開催



1月25日、保育所園児を対象とした英語教室「英語で遊ぼう」が大和村防災センターで行われました。英語に関心を持つきっかけになればと村が企画し、今回で3回目の開催です。村内の保育所の4・5歳児の23名が対象で、子どもたちは音楽にあわせて体を動かしながら、英語の色の名前を覚えたり、数を数えたりと、大きな声で楽しそうに参加する姿が見られました。先生は今里在住のティム・ショースタクさん。アメリカ合衆国アリゾナ州出身で、平成29年7月から家族4人で今里に住んでいます。大和小と今里小でALTとして勤務する傍ら、自ら会社を立ち上げ、英会話教室・通訳・翻訳・観光通訳ガイド業などでも活躍されています。ティム先生は今回の教室を終えて、「子どもたちは英語をただ繰り返すだけではなく、好き嫌いなど自分の考えを伝えるツールとして英語を使うことができていて素晴らしいかった。教室の外でもたくさん英語を使ってほしい。見かけたらぜひ話しかけて。」と話していました。

笑いの力でパワーアップ

老人クラブ交流会開催



思勝 AKB48による「恋するフォーチュンクッキー」



国直の皆さんによる
「きよしのズンドコ節」



今寿会の皆さんによる「膝が笑った」



津名久合唱団による
「青い山脉」と「二人は若い」



大和浜 野村さんによる「雪国」



大金久 元山さんによる
「すきま風」



湯湾釜 永野さんによる
「瞼の母」



戸円 坂元さんと植元さんによる
「俵星玄蕃元禄名槍譜」



名音むつみ会による
「恋かすみ」



大和老人クラブによる
「若鷺のうた」

1月19日（金）、大和村老人クラブ交流会が大和村防災センターで行われました。老人クラブがある10集落から約180名が参加。鹿児島県認知症介護指導者の中津詩穂さんを講師に迎え、「楽らく脳の健康教室」と題した講座があり、認知症の予防に役立つ生活習慣などが紹介されました。

余興の部では、各集落から趣向を凝らした出し物が披露され、会場は大きな笑い声と拍手に包まれました。また来年も元気な姿を見せてくださいね。各グループの出し物の写真を紹介いたします。



どうくざむんがたり

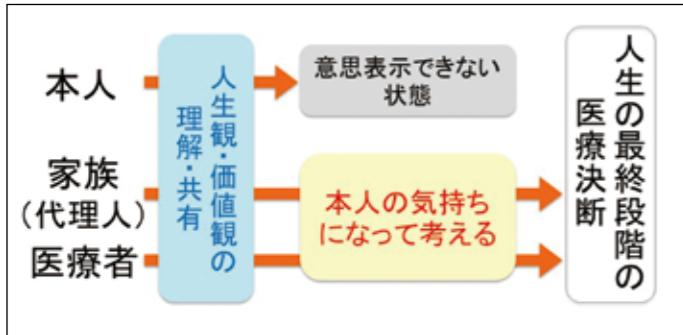
人生会議をしてみませんか？

大和診療所だより
Vol. 22

文／小川信

一年の初めにとても大事な話をしようと思います。人は誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の方が医療・ケア（介護）などを自分で決めたり、希望を人に伝えたりすることが出来なくなると言われています。そこで人生会議が重要になってきます。「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング；ACP）」とは、自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組のことです。自分の人生の最終段階（終末期）における医療・ケアについて、自らが希望すること、大切にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合ってみませんか？

人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）



引用 厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryou/saisyu_iryou/index.html

冬鳥の代表サシバについて

文／奄美自然体験活動推進協議会 吉田明美

前々号で冬鳥についてのお話をしましたが、今回は冬鳥の代表であるサシバに注目してお話したいと思います。

「ミーニシがふけばサシバが飛来する」、「ピーちばヒュー」など、サシバは秋の訪れやシイラが捕れ始める時期を知らせることわざにも登場するとも身近な鳥ですが、みなさん、サシバについて他にどんなことをご存じでしょうか。サシバは冬を越すために奄美に飛来しますが、春にはいなくなってしまいます。奄美にいない季節は、本州・四国・九州、朝鮮半島や中国の東北地方などで、子育てをして過ごしています。これらの地域では夏鳥ということになります。ちなみにサシバの中にはフィリピンやインドネシアまで南下し冬を越すものもいるそうです。

冬の奄美ではとても身近でよく見かけるサシバですが、実は絶滅危惧種で数は多くありません。かなりの距離を移動することからもわかるように、サシバには国境はありません。サシバが安心して暮らしていくためには、奄美だけでなく世界的に守っていくことが大事です。しかし、まずは奄美にやってくるサシバが無事冬を越して、子育ての地に渡つていけるよう、みんなで奄美の自然を守っていきましょう。



タカの仲間で体長50センチほど



羽を広げると1メートルを超える



地域おこし協力隊 小海もも子の

Wonder Amami

第15回

ワンダー奄美

伝統のイザリを体験しました！

先日、村内でイザリを体験しました。連れていってくれたのはイザリ名人のご夫妻。岩場でも滑らないように足袋を借りて、満月に近い月の下、恐る恐る海に入りました。

夜の海というと、とても怖くて歩けないと思いきや、海の中の地形までよく知っている方と一緒に、近所の小学生も同行していたので、ワイワイと楽しく参加できました。リーフでは見たことないウニやナマコ、半分寝ている魚、眼を光らす赤ちゃん伊勢海老など今まで知り得なかった海の姿がありました。私は小さな貝を見つけるのでやつでしたが、名人の獲った大きなタコを見た時は大興奮！また足元のリーフの奥から低い波の音がするのを聞いて、自分が海の上にいることに怖さと共に、自然の面白さを感じました。

名人がおっしゃっていたことで印象的だったのが、このイザリは「遊び」だということ。集落の目の前の庭のような海で、潮の満ち引きや月の明るさを利用した遊び……壮大で優雅な遊びですね。奄美の人々の心の豊かさはこういったところから来るのかもしれませんと感じました。一年で最も潮の引く冬の時期にのみ行われる伝統のイザリ。奄美の人々の生活に根付いています。



ウニだと思うのですが、見たことない種類です。



大きなタコと記念撮影。頂いたスガリというタコは、柔らかくて美味しいかったです。



合同会社ひらとみ のウンママ大和村

Unmama Yamatoson

第1回 南の島の高原野菜

はじめまして。合同会社ひらとみの久保和也です。このコーナーでは、合同会社ひらとみの活動についてお伝えしていきます。

現在行っている一つは、福元盆地で育てられた農産物を『福元野菜』として先駆的にブランディングし、それにより大和村で生産される農作物全体の価値を向上させる取り組みです。

私がこの取り組みを行おうと考えたのは、大和村に福元盆地という南西諸島の島でありながら山深く、高原とも呼べるような独特な地形があり、そこでとても質の良い農産物が作られていることに感銘を受けたことがきっかけです。

今後は、福元盆地で作られた農産物を「南の島の高原野菜」というコンセプトで、『福元野菜』として島内外のイベント等でPRとともに、全国に向けて大和村産農作物の情報発信を行っていく予定です。皆様が作られた素晴らしい農産物を、奄美大島の大和村にはこんなに美味しいものがあると全国の方々に知つてもらえるように紹介ていきたいと思います。私も農家としてはまだ未熟ながらも、少しでも大和村全体の農業が盛り上がりを考え、毛陣地区の農園で作物を育てています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



高い山々に囲まれた福元盆地の畑と、降り注ぐ太陽をイメージしてこのロゴを作成しました。これを活用して大和村産野菜をPRしていきます！



父 豊和さん 母 環さん (大棚)

保護者からのコメント

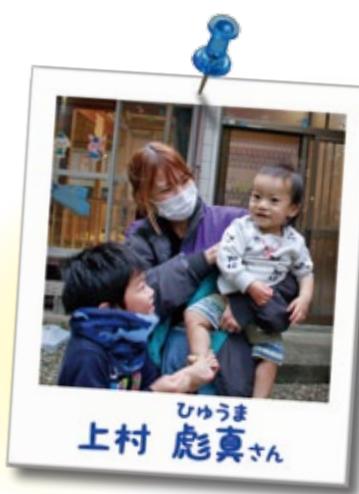
「元気に大きくなってね」



父 正さん 母 知子さん (湯湾釜)

保護者からのコメント

「歌にあわせて踊るのが大好きな侑くんです」



父 拓三さん 母 りりあさん (湯湾釜)

保護者からのコメント

「お兄ちゃん達に負けないようにたくましく育ってね」

こせきの窓

人口 1491人 (Δ 33)

男 730人 (Δ 14)

女 761人 (Δ 19)

世帯 863世帯 (Δ 8)

12月31日現在

(前年同月比)

暮らしの中の認知症を考える一日

第7回 大和まほろば福祉まつり

わたしに関することは、どんなことでも
最初にわたしに聞いて下さい。
わたしのことを、わたしを抜きに
決めないでください。

クリスティーン・ブライデン『オーストラリア在日』
～認知症ご本人の言葉より～

特別企画

12:30~13:30

ご本人と
その家族のつどい
福田さん・中倉さんと
語り合おう
申込み先: 57-2218

寸劇 9:35~ 思勝おがみの会

講演1 10:00~ 永田 久美子 氏
(認知症介護研究・研修センター研究部部長)

講演2 10:40~ 福田 人志 氏

(認知症ご本人)

トークセッション

11:10~

ご本人・パートナー・家族の立場から

野菜・試食品販売コーナー

12:00~12:30

※座って飲食できるスペースはありませんので、
ご注意ください。

問合せ先 大和村地域包括支援センター(0997-57-2218)



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。
<http://www.vill.yamato.lg.jp>

発行・編集 大和村役場企画観光課

〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地

TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161

mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp

<http://www.vill.yamato.lg.jp>